

みんなで作る！

# 地区防災計画作成マニュアル



まずは、  
ここからはじめてみませんか！！

岡山県

# はじめに

地区防災計画は、自分たちの命と地区を災害から守るため、地区の居住者や事業所の方々が、事前の備えと自発的な行動をみんなで話し合い、共有しておきたい共通ルールや防災活動の内容を紙や冊子にまとめたものです。

甚大な被害が生じた平成30年7月豪雨災害をはじめ、過去の災害からも明らかであるように、発生直後は、行政機関は災害時特有のさまざまな対応に追われ、地区住民一人ひとりの安否確認や避難誘導等まで手が回らないことがあります。

そうしたときに大切になってくるのが「地域の力」です。地区住民が主体となり、落ち着いて適切な行動がとれるよう、日頃から「自助」として災害に対して備えを進めていただくことはもとより、顔の見える関係づくりと「共助」の仕組みにより、誰もが助かる地区になっていただきたいと考えております。

本マニュアルには、令和元年度から令和4年度にかけて、地区防災計画等作成モデル事業を実施し、モデル地区の計画作成の支援を通じて得られた知見やノウハウをまとめています。ぜひ、本書を手に取り参考にしながら、できるところから始めてみましょう。

令和6年  
岡山県

## 地区防災計画の作成に向けて

- 地区には、高齢者や障害のある方をはじめ、妊産婦や乳幼児、外国人などさまざまな方が暮らしています。災害時に、誰もが助かる地区になるためには、どのような備えや対策が必要か、みんなで考えてみませんか。
- あいさつや声かけなど、すでに地区で行われていることや、地区で引き継がれている防災に関する書き物が存在する場合があります。計画は一から作成する必要はありません。日頃の取組を整理してみましょう。
- 最初から完璧を目指す必要はありません。計画事項の一式がそろわないと不十分であるというのは誤解です。「小さく始めて大きく育てる」という意識で取り組んでみましょう。
- 積み重ねを意識しながら、できるところから少しずつ取り組んでみましょう。話し合いが続くとモチベーションが下がってしまうことがあります。楽しみながら防災について学ぶ工夫をしてみましょう。
- 計画作成を行う取組の過程は1つだけではありません。取組の数だけ、それぞれに進め方があります。地区の特性や実情に応じた、ふさわしい進め方を見つけてみてください。
- 何から取り組んでよいか分からないときは、「命を守り、そしてつなぐこと」を確実に行えるよう、「避難」に特化したところから始めてみてください。

